



なお知らせ!

3月3日 耳の日 6月6日 補聴器の日 9月9日 人工内耳の日 9月23日 手話言語国際デー

コロナ知事会見、対策本部会議、記者レク 手話通訳 4月28日、要約版 5月2日から

新型コロナウイルス感染症に関する 知事記者会見等の情報保障

- 4月21日 県知事・健康福祉部長・報道局長宛 知事会見等の手話通訳及び要約ルールによる文字化の情報保障について要望書提出。
- 4月28日 知事臨時記者会見で初めて手話通訳が付く。
- 4月29日 記者レクで初めて手話通訳が付く。
- 5月 2日 この日から要約版の掲載が始まる。対策本部会議で初めて手話通訳が付く。
- 5月 7日 NHK佐賀放送局放送部長に、手話通訳者の知事と同一画面での放映及び字幕付与するよう要望

- ・新型コロナウイルス感染症が3月13日に佐賀県で発生して以来、県内の感染者は6月7日現在で47人、ここ34日間は新規の発生はありません。しかし福岡県では北九州市を中心に第2波の発生が見られます。3密対策をはじめウイルスとの戦いを緩めることなく続けることが大切です。
- ・このような状況に対処するため、佐賀県では全庁をあげて取り組まれています。その都度、対策本部会議が開かれ、マスコミへの知事記者会見等が行われています。
- ・3月当初には、知事記者会見等には手話通訳者の同時通訳はありませんでしたが、4月28日から手話通訳が付くとともに、5月2日県のホームページで要約筆記者による分かりやすい要約版が掲載されるようになりました。



《今後の取り組みと注意事項》

- ・新型コロナウイルスは死滅しません。第2波、第3波を発生させない取り組みを続けましょう。
- ・マスクの着用も引き続き必要です。併せて、気温と湿度が高い中での着用は熱中症の恐れもありますので、2メートル以上の距離が確保できる場合にはマスクを外すこともできます。こまめに水分も補給しましょう。
- ・10万円支給をめぐる偽メールや暗証番号、クレジットカード番号を尋ねる等の不審な電話等も増加しています。すぐ周りの人へ相談しましょう。

◆これまでの情報保障回数◆

(単位:回)	開催数	手話通訳	要約版
知事会見	9	6	6 (教育長含む)
対策本部会議	28	8	8
記者レク	19	6	4

6月7日 午前10時現在

『くらしニース調査』にご協力をお願い

未提出の方は記入の上センターへ郵送してください。



シリーズ (30)

山口相談医のひと言コメント



急性難聴について その1 突発性難聴

急に聞こえが悪くなる病気として、突発性難聴がよく知られているのではないのでしょうか？しばしば、「何月何日の何時に、聞こえなくなった。」という訴えが患者さんから聞かれる、というくらい、急にはっきりとした難聴が生じるとされています。

このようなケースでは40dB、50dBと言った大きな聴力低下が見られます。もちろんこれは典型例ですから、そうならないこともあります。20~30dB程度の低下であったり、全体が低下するのでは無く、部分的に低下している、などです。

診断基準の参考事項には「隣り合う3周波数で各30dB以上の難聴が72時間以内に生じた。」「急性低音障害型感音難聴と診断される例を除外する。」とあり、区別するための参考値が示されています。

治療は一般的にステロイドホルモンが使われますが、学術的には「有効性を示す明確なエビデスはない」とされています。ちょっと困った話ですが、世界的に見てもステロイドが主な治療薬として使われており、それにビタミン剤や微小循環改善剤を加えて治療されます。場合によっては高圧酸素治療も併用されます。注意が必要なのは、早め（数日以内）の治療開始が望ましいことです。時間が経つと薬の効果が期待できなくなると言われています。

余談ですが、突発性難聴の「0.8-5.7%に聴神経腫瘍が存在する」と報告されています。聴神経腫瘍による難聴は徐々に進行することが多いようですが、急に悪くなることもあります。頻度は少ないですが、識別するには頭部の画像診断が必要になります。

バルーンフェスタ中止

関連で、当センターの
写真コンテストも

佐賀平野の秋の風物詩「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」大会組織委員会は6月1日今年の大会の中止を発表しました。

関連して、当センターが主催していたバルーンフェスタ写真コンテストも今年は中止します。

編集後記：秋の風物詩、バルーンフェスタ。中止になり残念です。(m)

令和2年度第1回運営委員会(5/27)

新型コロナウイルス感染症対策のため黒崎全国手話研修センター長、中石ユニバーサルデザイン社長が自粛、3委員が業務の都合で欠席、9委員が出席して開催されました。

令和元年度の業務報告では、センターの利用者が3月のコロナの影響等もあり、前年より452人減り6556人であったこと、手話通訳者・要約筆記者をはじめ字幕制作者の養成講座、みみサポーターの養成や、ろう者・難聴者へのピアカウンセリング、各種相談等について報告されました。

この後

- ・情報支援者を増加させる手立てについて
- ・安否確認システムの8月豪雨時の返答率について
- ・手話言語等条例の施行後の変化について等について質疑応答が交わされました。

次に令和2年度事業計画について、新規事業として「聴覚障害者のくらしニーズ調査」に取り組むこと、新型コロナウイルス感染症対策についての知事記者会見時の手話通訳者の同時通訳、要約筆記者による要約文の県のホームページ掲載等について説明がありました。



全国手話通訳者統一試験

対策講座 始まる (5/24)

手話通訳者全国統一試験対策講座が今年も始まり、11名が受講。

要約筆記者養成講座 開講(6/3)

令和2年度の要約筆記者養成講座が開講しました。

受講生5名は、
10月28日まで
毎週水曜日4時間
学びます。



要予約

巡回聴こえの相談

時間はいずれも10時から15時

6月16日(火) 多久あいばれっと

7月22日(水) 大町町公民館

8月27日(木) 波多津コミュニティセンター

佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目1-12 (佐賀商工ビル4階)

TEL: 0952-40-7700 FAX: 0952-40-7705

メールアドレス: info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス: http://saga-mimisapo.jp/

＜開館時間＞

9:30 ~ 18:00

＜閉館日＞

毎週月曜日、祝日